

平成28年度 行政評価事業別シート

	実計対象 <input checked="" type="checkbox"/>	評価対象 <input checked="" type="checkbox"/>	新規 <input type="checkbox"/>	完了事業 <input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業 <input type="checkbox"/>	担当者	神林久雄
	全体計画			経費区分	実施計画事業費	内線	3518
事務事業名	8575 街路整備事業						
所 属	200100 まちづくり推進部・道路河川課						
施 策	06033300 橋や道路整備の推進						
予算科目	会計	01 一般会計					
	科目	080402 土木費・都市計画費・街路事業費					
	事業	010000 街路整備事業					
事業目的				事業概要・効果			
都市計画道路3・4・8号臥竜線の暫定供用をしている長野電鉄屋代線から八幡町国道403号線までの区間について事業実施をする。 都市計画道路3・5・6号八町線の泉小路の区間について事業実施をする。				臥竜線の整備により塩川町の国道406号と八幡町の国道403号とを結ぶことができ、交通環境の利便性が高まる。 八町線の整備により都市防災機能の充足と、市街地における交通混雑の緩和及び交通網の強化がはかられる。			

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 予定
臥竜線 工事 八町線 補償調査委託、用地・補償契約締結	臥竜線 工事 八町線 補償調査委託、用地・補償契約締結
平成29年度 予定	平成30年度 予定
平成31年度 予定	平成32年度 予定

指標名	用地締結件数						
算式						単位	件
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由	事業促進や早期完成からの策定						
最終年度目標の根拠	実施計画及び国の交付金等から算出						
指標名							
算式						単位	
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名							
算式						単位	
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		平成27年度 決 算	平成28年度 予 算
事業費		205,581	401,356
特定財源	国庫支出金	113,062	220,000
	都道府県支出金	0	0
	地方債	83,200	162,000
	その他	0	0
一般財源		9,319	19,356
人員数(人)	正規職員	2.3	1.3
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	16,578.4	9,370.4
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	16,578.4	9,370.4
市民一人当たりの経費		4.2	7.9
総額		222,159.4	410,726.4

(単位：千円)

平成27年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	16,796	工事請負費
19節 負担金補助及び交付金	10	全国街路事業促進協議会負担金
その他	188,775	立木等補償

(単位：千円)

平成28年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	0	補償調査委託
15節 工事請負費	128,720	工事請負費
19節 負担金補助及び交付金	10	全国街路事業促進協議会負担金
その他	272,626	立木等補償

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	須坂市の骨格を形成し、安全で快適な交通と生活環境を整備する。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	土地利用と一体となった整備を進めており、整備後沿道敷地の高度利用が図られている。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	やや悪化
評価コメント	交付金の交付率が減少しており、財源確保に苦慮している。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

財源の確保が課題である。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
財源を確保し、引き続き関係地権者と用地取得や補償物件等について交渉し、随時調印を行う。 工事を実施し、安全・安心で快適な道路整備の推進を図る。		八町線等の都市計画道路の交通体系を充実していくために財源を確保し都市基盤整備を計画的に進めていく	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	